

笠松町を訪問 中国江西国際経済技術合作公司一行

5月14日、中国・江西省の政府機関の一つである「江西国際経済技術合作公司」の劉建華副総経理一行は、笠松町長と懇談されました。

江西省はかねてから岐阜県と姉妹提携の関係にあり、そのことから笠松町商工会が七年前から「国際交流と地元企業の国際化支援対策」の一環として技術研修生受入事業を実施している、今回商工会の研修事業の実状を視察するため来日されたものです。当町には、技術研修生151人が縫製・食品・機械加工・プラスチック成形などの技術を学んでいます。

懇談では、経済成長が著しい中国の様子や今後の課題、痛ましい四川省での大地震などについて話し合われました。



中国からの視察団にあいさつされる広江町長

カメラの眼 まちの出来事



高齢者200人が 交通安全教室に参加



自転車の安全な乗り方の実技指導

5月20日、中央公民館と町民体育館で高齢者約200人が参加して交通安全教室が開催されました。

はじめに中央公民館で、岐阜羽鳥警察署交通課より、高齢者が知らず知らずしている身近な危険な事例をあげ、交通死亡者の増加と交通事故防止対策の講話がありました。

続いて、会場を町民体育館に移動し、簡易の信号機や横断歩道が設置された交差点で、自転車の安全な乗り方についての実技指導がありました。

その後、高齢者の皆さんが実際に自転車に乗り、交差点での正しい乗り方などを体験されました。

郡消防操法大会を目指して

町の第一・第二・第三分団のそれぞれの消防団員たちは、第2回羽鳥郡消防協会消防操法大会(6月22日)に備えて訓練していました。

この消防操法大会の種目は、小型ポンプ操法と自動車ポンプ操法があります。

消防団員たちは、仕事を終えた後や休日に各地で、ポンプ操作や規律の機敏さと正確さ・操法のスピードアップなどの技術向上を目指し、汗を流しながら連日連夜猛訓練に励んでいました。



訓練に励む消防団員たち